

誓いの言葉

例年と異なり、新型コロナウイルスの影響拡大に伴って、世間が賑わしいこの春に、私たち1,180名は山梨大学への入学を許可されました。私たちの入学の為に、ご支援、ご協力をして下さった多くの方々に感謝したいと思います。

中国の「淮南子（えなんじ）」という書物の中に「学ぶに暇（いとま）あらずと謂（い）う者は暇ありと雖（いえど）も亦（また）学ぶ能（あた）わず」という私の好きな言葉があります。

そのような気持ちで、これからの大学生としての四年間の日々を学問に真摯に取り組んでいきたいと思っています。昨今の目覚ましい情報社会の発展は我々に多大な影響を与えています。情報を簡単に得られ、多くの人々との交流がSNSなどによって容易にできます。その反面、ネット上にある誤情報に惑わされたり、家族といった身近な人々との関係が希薄になるなどの大きな問題を孕んでいます。このような社会においては、情報を正しく見きわめる力が求められます。そのために一つの情報を容易に鵜呑みにせず、比較検討し、最終的に自分で判断することが必要だと思います。

現在、新型コロナウイルスが世界中で蔓延していることによって混乱が生じております。これからの社会は予測困難なものとなっていますが、このような世界においても自分で考え、行動できるような人間になるために山梨大学で様々な学問を学び、世の中に貢献していきたいと思っています。

島田学長を始めとする先生方、先輩方のご指導の下、山梨大学の理念・目的にある『豊かな人間性と倫理性を備え、広い知識と深い専門性を有して、地域社会・国際社会に貢献できる人材』となることが出来るよう、精一杯努力することを誓います。

令和2年4月7日

新入生代表 山梨大学 工学部

コンピュータ理工学科 渡邊 佑真